



事業名 HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT

コンソーシアム名：細島灯台灯りの輪

対象灯台：細島灯台（宮崎県日向市）

企画概要

細島灯台

(宮崎県日向市)

コンソーシアム名

細島灯台灯りの輪

構成団体

一社) 日向市観光協会、HOSOSHIMAまちづくり協議会、日向市

事業名：HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT

【事業の目的】

- ①細島灯台の認知度を拡大し、細島灯台をもっと身近に感じてもらう
- ②細島灯台の歴史・文化を次世代へ継承する
- ③細島灯台を日向市の貴重な文化財として保護する

【事業概要】

3つの柱（「体験」「教育」「環境」）を軸に、目的に合わせた事業「HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT」を展開。昨年度の調査検証事業で得た経験と実績を基に、イベントの企画・実施体制の構築に取り組む。細島灯台を拠点とする「日向岬SDGsツアー」「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の2つのイベントを実施。



遊び、楽しむ。「体験」 ～灯台を広く知ってもらおう～

様々なコンテンツを用意して灯台に集まるイベントを実施します。その中より、今後継続できる事業を生み出していきます。

(灯台クエスト、灯台クルーズ、
灯台内部見学会、SNS写真コンテスト)



学び、知る。「教育」 ～灯台を未来へ繋いでいく～

大人から子ども達へ。歴史・文化など学びの場を提供することで、灯台への関心を高め少しでも多くの人に、“語り手”として繋いでいきます。

(灯台歴史展、地元高校生によるワークショップ、灯台スケッチ絵画展、動画制作)



整備し、迎える。「環境」 ～文化財として灯台を守る～

周辺インフラの整備及び環境保全を行うことで来場者に安全・安心を届けることができるように継続した活動を行います。

(灯台周辺安全柵の設置、環境イベント)

昨年度実施した細島灯台調査検証事業にて以下の課題が明らかになった。



日向市民の細島灯台の認知度は一定程度あるが、実際に訪れる機会は少ない。

細島灯台を学び、身近に感じる機会が必要。



細島港や灯台の歴史・役割を知る人々の高齢化が進んでおり、語り継ぐ人がいなくなる

港や灯台の歴史・役割を次世代を担う若者へ継承することが必要。



細島灯台および灯台周辺の景観・環境整備に取り組むことで、さらに灯台の魅力が向上する

継続した景観・環境整備により安全に足を運べる環境づくりが必要。



目標

Plan / 計画時点

「HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT」が日向市民に認知され、「細島灯台FES&細島灯台文化祭」が市内外から多くの人々が訪れる日向市の一大イベントなることで、細島灯台を中心に地域経済が活性化し、「細島灯台」が日向市のシンボルとなる。
また、2026年度までに「HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT」を継続して開催できる実施体制・設備・収支計画が整う。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

今年度の事業で開催した「日向岬SDGsツアー」「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の取り組みを通じて次世代を担う子供たちを中心に細島灯台の認知度を高めることができた。また事業を通じて子どもたちを中心とする日向市民が細島灯台に非常に関心を持っていることも分かった。
実施体制、収益化については課題が残っているため、次年度より深く実証していきたい。

企画運営パートナー

1

日向市体験型観光コンテンツ造成協議会

企画・運営協力（地域活性化、新たな体験コンテンツの発見）

2

日向市歴史観光ボランティアガイド

「細島灯台文化祭」のイベント企画・運営支援
（次世代への灯台の文化・歴史の継承、地域活性化）

3

みなとオアシスほそしま協議会

細島港を拠点とするイベントの企画・運営支援
（地域活性化、「海の駅ほそしま」等運営施設の売上増）

4

宮崎県立富島高等学校（地元高校）

灯台ワークショップ企画・運営
（シビックプライドの醸成、地域社会への貢献、普段の学校生活では体験できない学び）

5

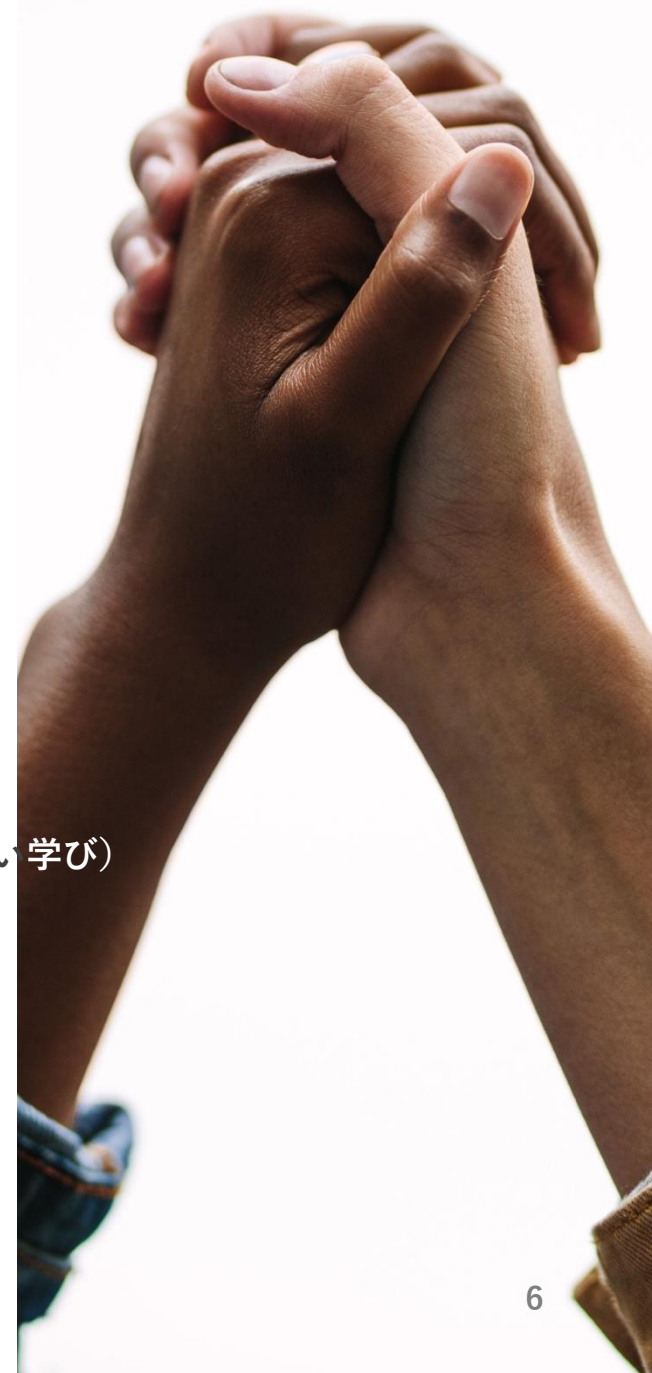
馬ヶ背遊覧船「飛島丸」

灯台クルーズの運営（事業収益）

6

細島地区区長会

イベントの企画・運営支援（地域活性化）



地域の各団体と連携し、事業を進めることができた。

1

日向市体験型観光コンテンツ造成協議会 ≫ イベント企画運営協力

本事業で行った2つのイベントの運営に協力。

特に「日向岬SDGsツアー」ではこれまで同様のイベントを実施してきた経験から「細島灯台灯りの輪」と共催で実施。次年度以降に繋がる運営体制が構築できた。

2

日向市歴史観光ボランティアガイド

≫ 細島灯台内部見学会、細島灯台歴史展の運営協力

2つのイベントで実施した「細島灯台内部見学会」「細島灯台歴史展」において、昨年度事業で制作した「灯台ガイドマニュアル」を活用し、灯台の歴史、文化等について解説。次世代への継承に繋がった。

3

みなとオアシスほそしま協議会 ≫ 日向岬SDGsツアー、細島灯台クルーズ運営支援

「日向岬SDGsツアー」での食事の提供（細島で水揚げされた魚を使ったあら汁）、灯台クルーズの協力。次年度以降のイベントでは、漁師飯の調理やおもてなしを通じた地域とふれあえる企画を検討している。

4

宮崎県立富島高等学校 ≫ 高校生ワークショップ企画運営

「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」のコンテンツの1つとして開催したワークショップを1から企画、当日の運営まで担当。参加した高校生のシビックプライド醸成の他、若者目線で灯台を次世代へ継承していく取り組みになった。

5

馬ヶ背遊覧船「飛島丸」 ≫ 灯台クルーズの運営

昨年度に引き続き、灯台クルーズの運営。

参加者からも好評のため、次年度ブラッシュアップした事業展開を検討している。

6

細島地区区長会 ≫ イベント運営支援

イベント実施の際の運営支援スタッフとして参画。

今後自立した事業体制を整えるために、さらなる連携が必要になる。

👍 良かったこと



👍 地域の事業者がイベントの企画運営に携わることで、地域事業者の細島灯台に対する愛着が向上した。

👍 地域事業者については、細島灯台の認知度は高いが、その歴史や文化について知っている人は少ないため、灯台についてより深く理解し、学ぶきっかけとなった。



反省点・改善案



コンソーシアムおよび一部の企画運営パートナーで集まる機会は何度かあったが、企画運営パートナーの全員で集まる機会がなく、あまり意見を反映させることができなかった。次年度以降は企画運営パートナーも含めたワークショップを開催し、意見交換の場を設けたい。



イベント当日での運営支援のみの団体もあったため、一過性のイベントでの協力ではなく、持続的に連携できる仕組みづくりを行う。

事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

01

事業活動その1

遊び、楽しむ。“体験”

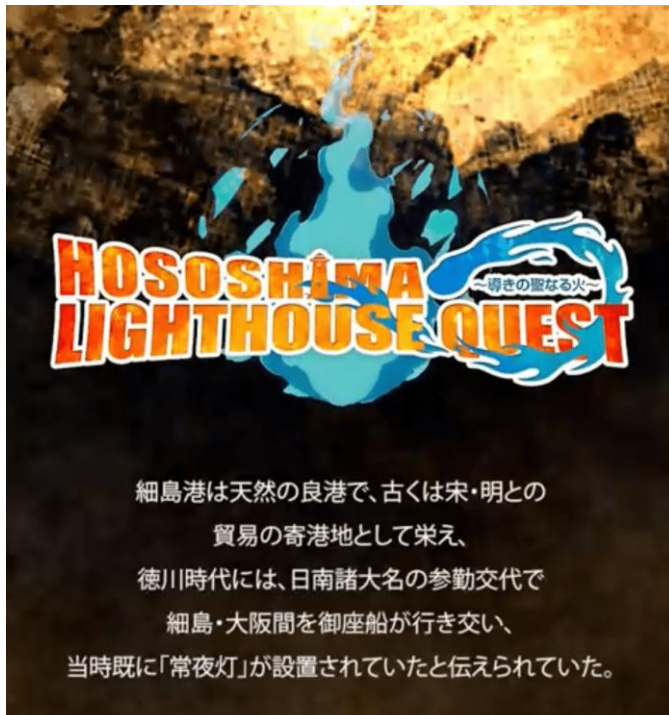
学び、知る。“教育”

「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の
開催

事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

HOSOSHIMA TOUDAI-QUEST

灯台周辺を歩いてもらうことを目的に、
謎解き宝探しを実施します。最後の目的地は
細島灯台へ、そこにはお宝が…



細島灯台クルーズ体験

馬ヶ背遊覧船「飛島丸」に乗船し、
細島灯台の”顔”を日向灘から眺め、
灯台の役割、歴史を学ぶ灯台クルーズを実施。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

細島灯台内部見学会

通常施錠されている灯台をイベント実施日のみ特別に解放。普段は入ることができない灯台の内部見学、灯台の上からの絶景を楽しんでいただく。



細島灯台SNS写真コンテスト

細島灯台と灯台からの絶景オーシャンビューをテーマに写真コンテストを実施。コンテストはSNSを活用して実施。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

細島灯台歴史展

細島灯台にまつわる写真や歴史的文献等を用いて、灯台について学んでもらう展示を行う。



地元高校生による 細島灯台ワークショップ

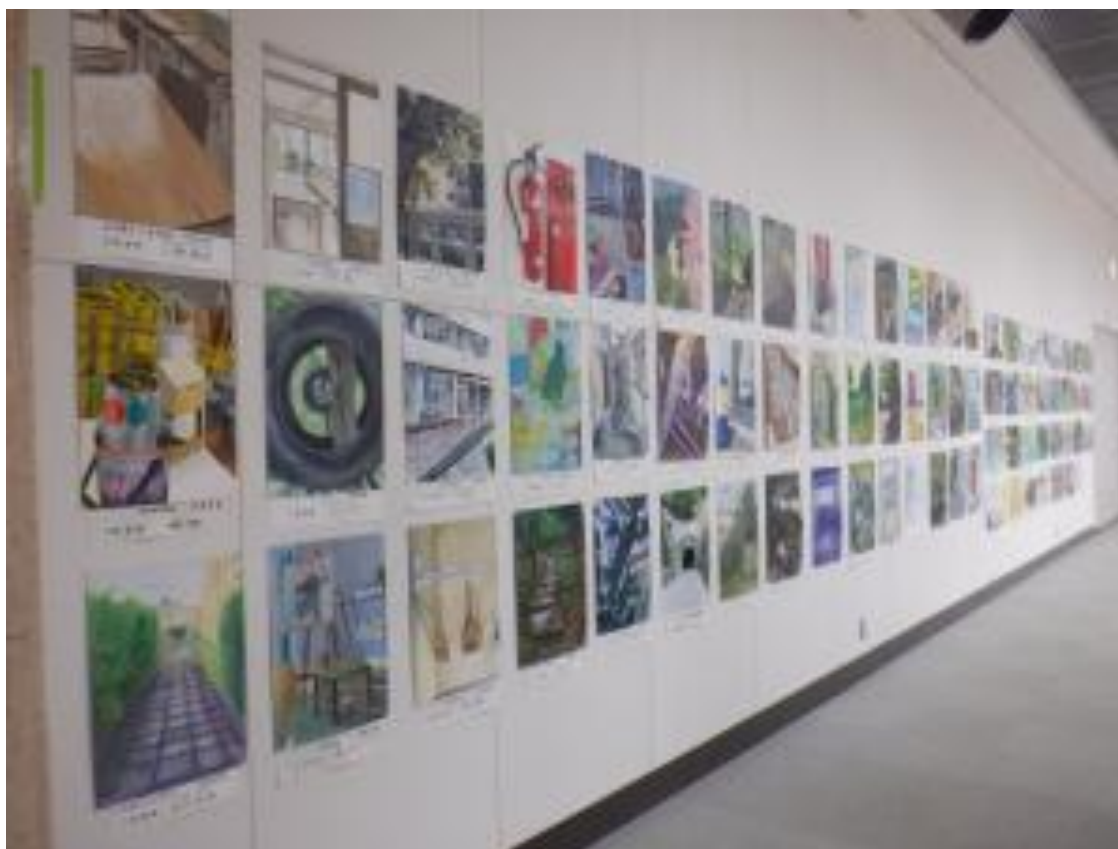
地元高校生によるワークショップを開催。
紙芝居、灯台ねんど工作などのコーナーを設け、
次世代を担う子供たちに灯台を知ってもらう機会とする。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

細島灯台絵画展

地元学校の課外授業等を活用し、細島灯台周辺の風景等のスケッチに取り組んでもらう。スケッチした絵は、日向市内商業施設に展示。
多くの市民の方に見学いただき、細島灯台を認知してもらう。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

細島灯台オーシャンステージ

灯台敷地内に簡易ステージを設置し、オーシャンビューを背景に幼稚園・保育園、小中高の子ども達やカルチャー教室、クラブ活動などお披露目する場を提供し盛り上げます。



細島灯台マルシェ

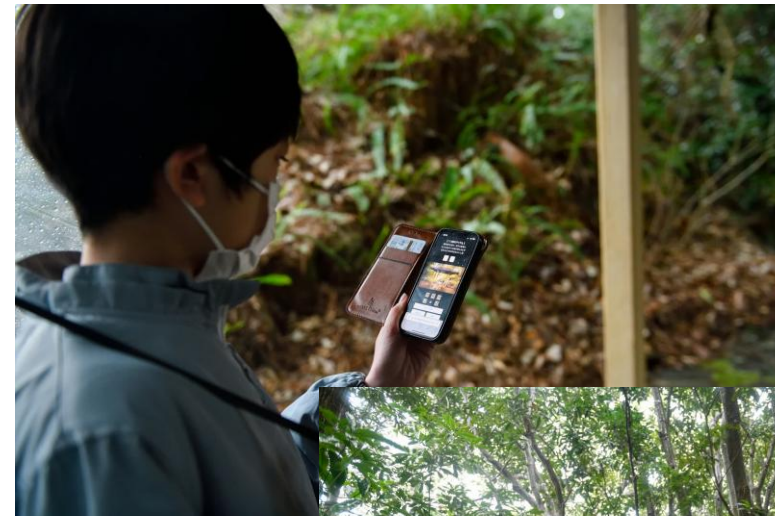
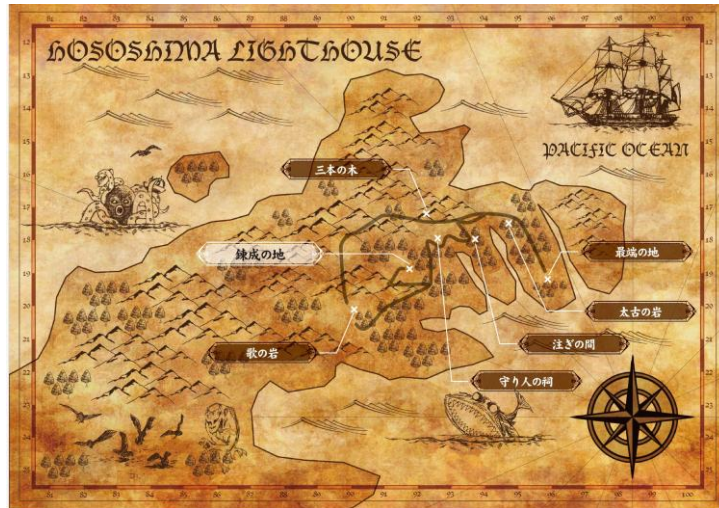
日向市内事業者から地元産品の出展をしていただき、キッチンカーや地元を感じるマルシェを開催。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

1 HOSOSHIMA
TOUDAI-QUEST

細島灯台およびその周辺エリアの景観や設備を活用し、謎解き形式のクイズを開発。
スマートフォンを活用し、謎を解きながらゴール地点の細島灯台を目指す。
見事ゴールした参加者には灯台のふもとにある売店「馬ヶ背茶屋」のソフトクリーム無料券を景品としてプレゼント。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

2 細島灯台クルーズ

昨年度の事業で好評だった灯台クルーズを今年も開催。
あいにくの天気でしたが、大人8名、子ども5名に参加いただき、海から細島灯台を見学するだけでなく、クルーズ船「飛島丸」スタッフより灯台の景観や歴史、文化に関するガイドも行いました。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

3 細島灯台内部見学会

普段は入ることのできない灯台の内部を特別に開放。
灯台の中がどんなつくりになっているかを学ぶことができました。
また灯台に入る前にボランティアガイドより灯台の歴史や文化について説明を行うことで、
ただ景観を楽しむだけでなく、学びの要素も加わりました。
見学会は11月4日「日向岬SDGsツアー2024」および2月1日「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の2日間開催。

日向岬SDGsツアー2024の様子



HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVALの様子



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

4 細島灯台SNS写真 コンテスト

- ◆募集期間：2024年10月7日（月）～11月30日（日）
- ◆内容：「細島灯台」をテーマとする、未発表のオリジナル写真
- ◆選考基準：細島灯台及び細島灯台敷地内から撮影された作品であること。
その中で、灯台の歴史や価値、灯台から見える景色などがより多くの方に共感を得られるような作品。
- ◆応募方法
 - （1）Xの「日向市役所観光交流課公式アカウント」（@Hyugacity_kanko）をフォロー
 - （2）ハッシュタグ「#細島灯台」を付けて投稿
- ※複数応募の場合、1投稿につき1作品だけの投稿
- ◆入賞者には豪華景品をプレゼント

受賞作品（最優秀賞）



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

5 細島灯台歴史展

昨年度の調査検証事業で集めた資料を時系列でパネルにした細島灯台の歴史を伝える展示会を開催。

◆細島芸術祭（11/9～11/10）：細島公民館にて展示

◆HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL（2月1日）：灯台敷地内に展示

イベント当日は地元ボランティアガイドの協力のもと、展示内容や灯台にまつわる歴史、文化などの説明してもらいました。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

6 地元高校生によるワークショップ

昨年度から連携している地元富島高校の学生が灯台を次世代（子供たち）へ伝えるワークショップを開催。

◆内容：灯台の紙芝居、モノづくり体験（灯台模型づくり、フォトフレーム、キャンドルづくり）

ワークショップの内容は高校生が自分たちでアイデアを出し、灯台に興味をもってもらえる内容になるよう工夫を凝らしました。

モノづくり体験の下準備、手作り紙芝居の作成などの事前準備から、イベント当日の紙芝居のナレーションやモノづくりの説明などワークショップの運営まで地元高校生主体で行いました。



事業活動その1：「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催

7 細島灯台スケッチ絵画展・
絵画コンテスト

地元の小学生を対象に細島灯台をテーマとする絵画コンテストを実施。

地元小学生112名より応募がありました。

提出いただいた絵画は灯台ウィーク（11/1～11/8）期間中、イオン日向店および日向市役所に展示。
コンソーシアムメンバーにて優れた作品の選定を行い、入賞者には景品をプレゼントしました。

8 細島灯台オーシャン
ステージ

2024年11月16日「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の一環として、地元高校生のバンドステージや大声選手権の開催を予定していたが、天候不良のためイベント延期。

延期となった2025年2月のイベントでは出演者とスケジュールが合わず実施を断念。

9 灯台マルシェ

2024年11月16日「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の一環として、宮崎県内の飲食店4店舗出店予定だったが、天候不良のためイベント延期。

延期となった2025年2月のイベントでは出店者とスケジュールが合わず、実施を断念。

良かったこと



-  イベントの開催を通じて、子どもたちを中心とする日向市民が細島灯台に非常に関心をもっていることが分かった。
-  細島灯台だけでなく、その周辺の馬ヶ背エリアも含めたコンテンツを造成することで滞在時間の延長にも繋がる。



反省点・改善案



屋外のイベントであるため、天候の影響を受けやすかった。
イベントの開催可否や参加申込者への連絡など、実施体制を再度検討する必要がある。



一部有料コンテンツとして検証を行ったが、今後の事業化に向けて収益性を検討する必要がある。

02

事業活動その2

学び、知る。“教育”

細島灯台オリジナル動画の制作

事業活動その2：細島灯台オリジナル動画の制作

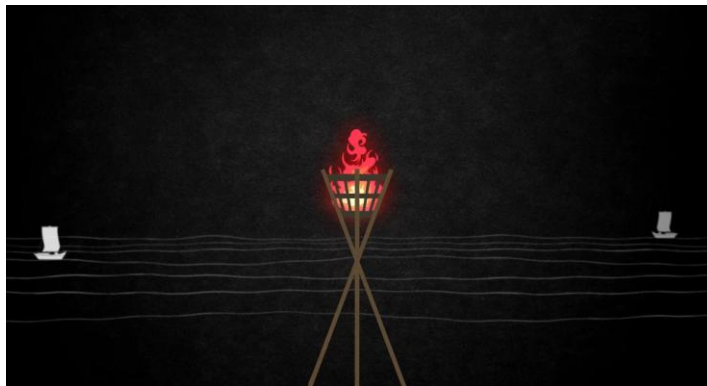
灯台のことを少しでも知ってもらえるように、市内の子ども達向け動画を制作。
次年度以降、市内小中学校の教材として活用できる動画とする。



事業活動その2 細島灯台オリジナル動画の制作

1 細島灯台オリジナル動画の制作

- ・昨年度の事業で調査検証を行った内容をもとに、灯台そのものの成り立ちから細島灯台の歴史、特徴を学べる動画を作成。
- ・動画内には今年度行ったイベントの様子なども差し込み、細島灯台に関する取り組みを知ってもらい、興味を持ってもらえる内容になった。
- ・作成した動画は次年度以降、地元小学校などへ配布し、授業の教材などで活用してもらえるよう展開する。



細島に現存する常夜灯（常夜燈）



良かったこと



動画という形に残るものを作ることで、誰でも簡単に細島灯台について学べる環境づくりができた。



細島港や灯台の歴史・役割を知る人々の高齢化が進んでおり、語り継ぐ人がいなくなるという課題解決の一助となる。



反省点・改善案



作成した動画の今後の展開について、学生だけでなく、一般向けにも見てもらえる取り組みを次年度以降コンソーシアムメンバーや地元の学校などで検討する必要がある。

03

事業活動その3

整備し、迎える。“環境”

細島灯台環境イベント

「日向岬SDGsツアー2024」の実施

事業活動その3：細島灯台環境イベントの実施

ファミリーで参加できる細島灯台および細島灯台周辺の木々を除伐し、灯台に至る遊歩道などの環境保全イベントを実施。



事業活動その3 細島灯台環境イベントの実施

1 細島灯台周辺エリアの 木々の伐採

耳側広域森林組合協力のもと、参加した子供たちとその家族で細島灯台周辺エリアの森林の除伐作業を行った。
灯台を含むその周辺環境を整備することで、灯台へ行きたくなる環境づくりを行った。

2 秋のリース作り体験

灯台周辺に自生する「かずら」や「蔦」などを使用して、リース作り体験を実施。
木々を除伐するだけでなく、そこで出た自然由来のものを使ってリースを作るという楽しい催しも合わせて実施することで、灯台周辺の環境を整えつつ、SDGs に対する意識向上につなげることができた。



👍 良かったこと



👍 除伐体験とリース作り体験を組み合わせることで、楽しみながら環境づくりができるイベントとなり、ターゲットとなる日向市内のファミリー層に多数参加してもらうことができた。

👍 昨年度まで「日向市体験型観光コンテンツ造成協議会」で行っていた同様のSDGsイベントと灯台見学会などのコンテンツを掛け合わせることで、相乗効果がうまれた。



反省点・改善案



国定公園内の除伐となるため、今後も継続してイベントを実施できる各種許可申請や実施体制のマニュアル構築が必要。



収益性を生むために、現状の内容に付加価値を加え、有料販売できるイベントとしての検討が必要。

04

事業活動その4

整備し、迎える。“環境”

細島灯台周辺環境整備の実施

事業活動その4：細島灯台周辺環境整備の実施

細島灯台の麓「馬ヶ背茶屋」から細島灯台までの道中の
安全柵設置工事を行う。



事業活動その4 細島灯台周辺環境整備の実施

1 許可申請

- ・国（申請は市宛）
自然公園法第20条第3項に基づく国定公園内の工作物の新設
- ・宮崎県
森林法第34条第2項に基づく土地の形質変更

2 設置工事

- ・支柱設置箇所の砂利等撤去
- ・支柱基礎工事
- ・擬木柵（手すり）設置、固定工事



👍 良かったこと

👍 灯台までの遊歩道に安全柵を設置することにより
観光客に対する配慮と、これまで以上に灯台に足を運びやすい環境づくりができた。

👍 事故の危険性が低くなったことにより、早朝や夜のコンテンツ開発に積極的に取り組むことができるようになる。



反省点・改善案



他の坂にも手すり設置ができなかった。今後の事業収支に応じて、設置を検討したい。

顧客ターゲットと 提供するベネフィット

メインターゲット

1 日向市内のファミリー層

親子で楽しみながら体験できるコンテンツが多数ある。
また歴史展やワークショップなどのコンテンツは、ただ楽しむだけでなく、学びも得ることができる。

サブターゲット

2 20～30代の日向市内在住者

これまであまり細島灯台に触れる機会の少なかった市民が、
灯台について知ることによって、シビックプライドが向上する。



日向市内の子どもたちを中心に灯台への関心が高まった

1 HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL

<メインターゲット> 日向市内ファミリー層

<サブターゲット> 20～30代の日向市内在住者

2月1日開催の「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」では、雨天の中、日向市内のファミリー層を中心に約70名が参加。細島灯台クエストや高校生ワークショップ、歴史展等、様々なコンテンツを通じて、楽しみながら灯台について知ってもらうことができた。

2 日向岬SDGsツアー

<メインターゲット> 日向市内ファミリー層

日向市内ボーイスカウトと連携し、日向市内ファミリー層を中心に灯台の歴史・文化だけでなく、その環境についても知ってもらうとともに、地域で守り育てるという点でシビックプライドの醸成となった。

3 細島灯台絵画展

<ターゲット> 日向市内の小学生

絵画展を通じて、灯台に足を運ぶきっかけとなり、次世代を担う子供たちが灯台を認知し、関心をもつきっかけとなった。

👍 良かったこと



本事業のイベントや取り組みを通じて、次世代を担う日向市内の子どもたちを中心に灯台の認知度向上だけでなく、関心を高めることができた。



子どもたちをターゲットとすることで、その家族もイベントに参加してもらうことができ、細島灯台の存在を知っている大人たちにも改めて灯台に足を運んでもらうきっかけができた。



反省点・改善案①

サブターゲットとしていた20～30代にあまりコミットできなかった。
ファミリー層と分けてコンテンツ開発を行う必要がある。



反省点・改善案②

ファミリー層をターゲットとしていたが、子供だけでなく大人も一緒に楽しめるコンテンツにするとより高いベネフィットを提供できると考える。

チャネル

～顧客に事業の価値を届ける 経路、確認する経路～

認知の獲得

ポスター、チラシ、SNS、マスコミ（地元新聞社、地元テレビ局、地元ラジオ）によるリリース配信、協力団体による発信、地元商業施設での案内、日向市内各学校への案内

興味関心の獲得

細島灯台の魅力である景観やイベント情報をポスター、チラシ、SNS、マスコミ等で発信

参加時の顧客への事業価値の提供

イベント全体および各コンテンツの満足度、改善点など、参加者アンケートにより集約

事前予約の獲得

主催者が用意する事前予約システム

日向岬SDGsツアー2024 参加者募集!!

日豊海岸国定公園の自然を守ろう！
日向岬細島灯台周辺の美しい海を切り取り、
自然の貴重さや景観、灯台内部見学、
灯台歴史や森を守ることの大切さを学ぶツアーです。

秋のリース作りや
灯台内部見学が盛りだくさん！

プログラム

- ◆午前10時～ 開会式・SDGsについてのお話（10分）
- ◆10時10分～ 木を切ってみよう！（1時間50分）
- ◆お昼の12時～ 昼食・休憩（1時間）
- ◆1時15分～午後3時 秋のリース作り
灯台内部見学及び灯台の歴史の話

※プログラムの内容については、変更する場合がございます。

日程
11月4日（日） 雨天中止
午前10時～午後3時まで

会場 馬ヶ背遊歩道周辺（細島灯台までの遊歩道）
集合場所 細島灯台（馬ヶ背茶屋から歩いて5分）
定員 50人（小学生は保護者と一緒に来てね）※申込み先着順
参加費 1人500円（保険料込）
服装 帽子、長袖、長ズボン（動きやすく安全な服装）
参加費 灯台グッズ

主催／日向市体験型観光コンテンツ造成協議会、細島灯台灯りの輪
協力／耳川広域森林組合、（一社）日向市観光協会、日向市

お申し込みは
右の二次元コードより
10月20日（日）までに
お申し込みください。

当日はお弁当や飲み物を
用意しています。
また、手袋や使用する
のこぎりは貸し出します。
ぜひ参加してね！

お問合せ 日向市体験型観光コンテンツ造成協議会（事務局：日向市観光交流課） TEL 0982-66-1026

チラシ・ポスターの媒体を中心に情報発信 イベント実施後はアンケートにて効果検証を実施

1 認知・興味関心の獲得

イベントをPRするチラシ・ポスターを制作。
ポスターは日向市内学校や日向市駅、市内商業施設などに掲示。
チラシは日向市内学校、公共施設、協力団体による市内在住者への配布。
イベント実施前は市内メディアへプレスリリースを実施。

2 参加時の顧客への 事業価値の提供

「日向岬SDGsツアー」
「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」参加者に対し、アンケート調査を実施、効果検証を行った。

3 事前予約の獲得

（一社）日向市観光協会にて灯台クエスト、灯台クルーズの事前予約システムを構築。



👍 良かったこと

- 👍 市内の学校へチラシ・ポスターを配布することで、ターゲットとなるファミリー層へ効果的にPRすることができた。
- 👍 事前予約システムの構築により、次年度以降の自走化に向けた予約体制について事業の効率につながった。



反省点・改善案



プロモーション期間が短く、十分に集客が出来なかった。
自治体主導から民間主導にすることで、スピード感をもって事業を進められる体制を構築する。



悪天候の影響もあり、アンケートに関して、十分な回答数を得られなかった。
イベント内容の発展的見直しを行うためにも、今後の活動に生かせる意見集約を行っていく。

顧客との長期的な 関係構築のために 実行できる施策

既存コンテンツの バージョンアップや 新規コンテンツの導入

1度来訪した人を飽きさせないため、既存コンテンツをバージョンアップを図るとともに、全く異なる新しいコンテンツを導入することにより、リピーター層も楽しめるイベント・環境づくりを行う。

情報発信の強化

細島灯台やその周辺エリアの魅力を伝えるSNSでの定期投稿等を行い、細島灯台およびイベントの印象付けを行う。

他地域・イベントの 差別化

このイベントでしか体験できない高付加価値コンテンツ開発やオリジナル灯台グッズ（非売品）をイベント参加者限定で配布するなど、他のイベントとの差別化を図ることで、リピーター獲得のための仕組みづくりを行う。



1 既存コンテンツのバージョンアップや新規コンテンツの導入

細島灯台クエストのブラッシュアップ・新規コンテンツの開発

- ・今年度開発した細島灯台クエストをブラッシュアップし、次年度以降継続的に販売する方法を検討（馬ヶ背茶屋での販売等）
- ・今年度実施できなかった「灯台マルシェ」などを絡めたイベントの検討

2 情報発信の強化

細島灯台に関する継続的な情報発信

- ・今年度事業で開設した日向市Xアカウントを活用し、灯台に関連した情報やイベントのPR強化を図る。
- ・観光情報誌も活用し、日向市外にも細島灯台の魅力発信に取り組む。

3 他地域・イベントの差別化

「細島灯台」でしか体験できないコンテンツの追求

- ・現役灯台として活躍する「細島灯台」でしか体験できないコンテンツ開発（特に朝、夜の時間帯の活用）を検討
- ・「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の磨き上げ（地域のお祭りとしての落とし込みなど）
- ・コンテンツだけでなく限定グッズなどの開発・販売も検討。

👍 良かったこと



細島灯台クエストの実証により、次年度以降顧客と長期的な関係構築ができる可能性のあるコンテンツを見出すことができた。



次年度以降の長期的な関係構築を検討することで、コンソーシアムメンバーだけでなく地域事業者と意見交換する機会を創出することができ、次年度以降の体制構築の一助となった。



反省点・改善案



雨天時の対応や天候に左右されないコンテンツの検討など、長期的な顧客との関係構築のための施策を検討する。

事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

01

人、物、情報

人

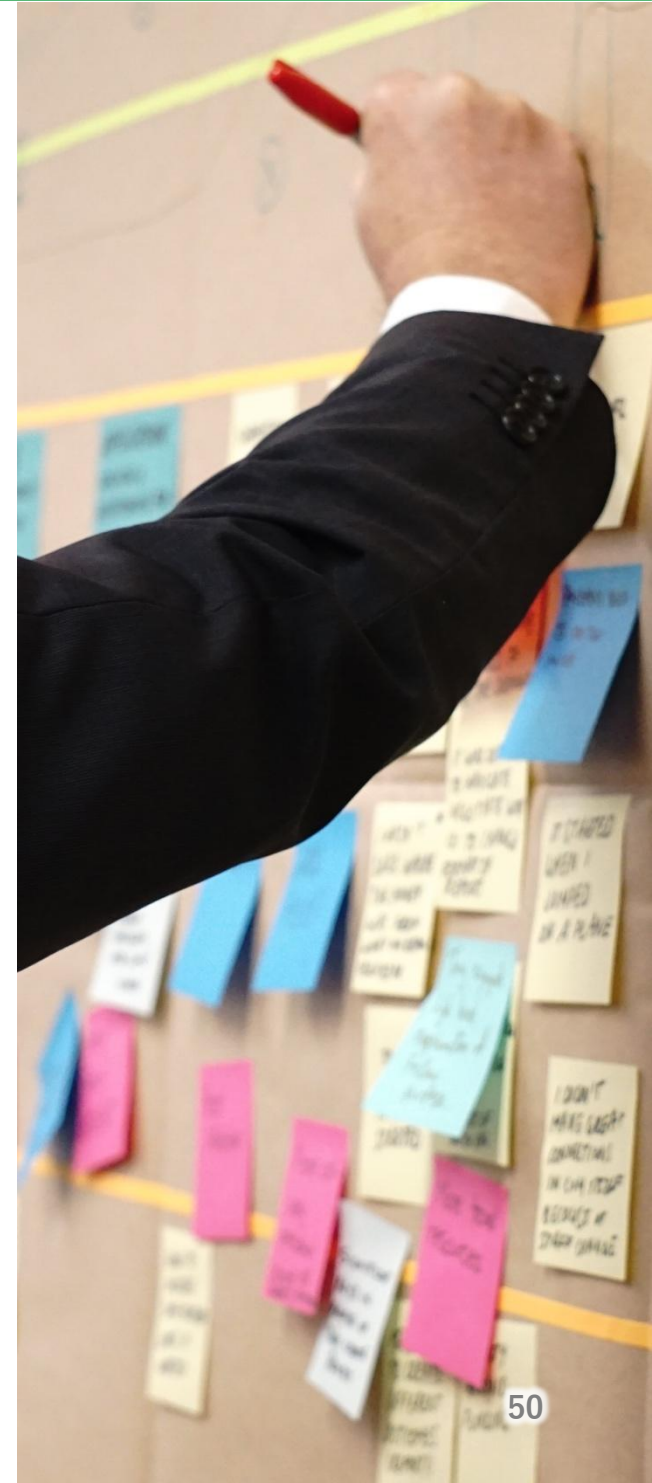
事業企画プロデューサー
事業進行ディレクター
イベント運営スタッフ
広報スタッフ
経理スタッフ
地元連携団体
地元協力団体
出展団体
宮崎海上保安部

物

イベント運営に必要な備品 (パネル、テント、ステージ、椅子、テーブル等)
灯台グッズ
PRツール (ポスター・チラシ・SNS等)

情報

細島灯台の歴史や役割、物語



1 人

イベントの運営にあたりコンソーシアムメンバー、地域団体と連携しおおむね計画通りのリソースで実行できた。

- ・ 事業企画プロデューサー
- ・ 事業進行ディレクター
- ・ イベント運営スタッフ
- ・ 広報スタッフ
- ・ 経理スタッフ
- ・ 地元連携団体
- ・ 地元協力団体
- ・ 出展団体
- ・ 宮崎海上保安部

2 物

イベント運営にあたり必要な物品の手配・制作を行った。

- ・ イベント運営に必要な備品
（パネル、テント、ステージ、椅子、テーブル等）
- ・ 灯台グッズ
- ・ PRツール（ポスター・チラシ・SNS等）

3 情報

昨年度の調査事業の資料を活用し、歴史展パネルを作成した

- ・ 細島灯台の歴史や役割、物語

良かったこと



 コンソーシアムメンバー、地域事業者など、各事業者と連携し、イベント運営を行うことができた。

 情報収集等、昨年度の調査検証事業で得た知見・つながりなどを十分に活用し、事業運営を行うことができた。



反省点・改善案



イベント運営に携わるメンバーで共有できるようなマニュアルの作成をするとよりスムーズな事業運営ができた。

02

許認可

許認可

日向市

市有地使用許可

海上保安庁

国有地使用および灯台解放許可

保健所

飲食提供許可

県

国定公園内の工作物設置許可

国定公園内土地の形質変更使用許可

1 日向市

＜市有地使用許可＞
◎本事業に市が関与しているため省略

2 海上保安庁

＜国有地使用および灯台解放許可＞
◎使用面積、使用内容、使用期間を示した所定の申請書にて、使用申請
11月16日、2月1日

3 保健所

灯台マルシェ中止の為、実行なし

4 宮崎県

＜国定公園内土地の形質変更使用許可＞
◎申請窓口となる東臼杵農林振興局に対して、工事内容や施工方法を示した所定の申請書にて、許可申請

＜国定公園内の工作物設置許可＞
◎申請窓口となる日向市環境政策課に対して、工作物の内容や施工方法を示した所定の申請書にて、許可申請



メディア露出



1月28日 日向経済新聞「細島灯台フェスティバル」

ホーム > 地域の話題 > 県北 >

地域の話題 ▾

県北

一覧

いいね! 32 シェアする 32 ポスト LINEで送る

細島灯台 周辺景観を美しく 親子連れ雑木伐採

2024年11月9日

日向市の日向岬に立つ細島灯台に親しむ「日向岬SDGsツアー2024」（細島灯台（あか）りの輪、日向市体験型観光コンテンツ造成協議会主催）は4日、現地であった。親子連れ約60人が参加し、灯台周辺の雑木を刈り払って景観を美しくし、灯台内部を見学した。



（全文は朝刊または携帯サイトで）

【写真】「日向岬SDGsツアー2024」で細島灯台から海を眺める参加者

11月9日 宮崎日日新聞

のべ102媒体



8月4日 日向坂46 OFFICIAL WEB SITE

今後について

A. 事業について

課題

子どもたちを中心として次世代へ灯台をつなぐために
灯台への興味関心を維持する取り組みが必要

今回の事業で子供たちを中心とする日向市民が細島灯台に
非常に高い関心をもっていることが分かったが、継続して
灯台に関心をもってもらえるような活動を行う必要がある。



施策

- ◎今年度の「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の中で実施した
地元高校生によるワークショップの磨き上げを行い、展開する。
例）地元高校生が公民館や小学校などへ訪問し、灯台に関する説明を
行ったり、モノづくりワークショップを実施したりする出張灯台塾を
開催する。
- ◎今年度実施した「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」のブラッシュ
アップを行い、地域のお祭りの1つとして定例化する。

B.実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

課題

自治体主導から民間主導に向けて主体となる団体を
運営リーダーを育成する必要がある。

昨年度に引き続き、今年度は日向市主導でコンソーシアム組織を運営。
今後の自走化していくために自治体主導ではない団体が運営リーダーと
なるべく実施体制を検討する必要がある。



施策

- ◎コンソーシアムメンバーの他、地域事業者でワークショップなどを
開催し、今後、灯台のイベントやコンテンツ販売を行っていく団体を
協議する。
その際、各団体から障壁となっていることなどをヒアリングし、
地域一体となって事業運営を行う体制を構築する。

C.収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

課題

一部有料コンテンツとして検証を行ったが、
今後の事業化に向けて収益性を検討する必要がある

今回の事業にて細島灯台クエストおよび細島灯台クルーズ
にて大人500円の料金設定で検証を行った。今後の自走化
を考えると500円では成り立たない為、収益を生み出す事
業構造を検討する必要がある。



施策

- ◎現役灯台として活躍する「細島灯台」でしか体験できない
付加価値の高いコンテンツを開発する。
（灯りを放つ現役灯台の特徴を活かして、灯台の灯りが点灯する
朝や夜の時間帯の活用）
- ◎市内外のメディアやSNSなどを活用してプロモーションを
強化することにより、市内だけでなく市外からの誘客にも
取り組むことで、収益増加を図る。

今年度実施した「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の磨き上げやコンテンツの高付加価値化、
新たなコンテンツの開発などにより、収益化に向けての実証を行う。
収益化と並行して、地域の連携を強化し地域一体となって細島灯台を継承する体制を構築する。

【今後の計画】HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVALの定着及びコンテンツの開発

今年度実施したイベントの磨き上げを行い、今後地域のイベントとして定着できるよう取り組みを行う。
収益化に向けて自主財源を確保する体制を検討する。



**HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVALを
地域の恒例イベントに**



**現役灯台の強みを生かした
朝・夜コンテンツの開発**



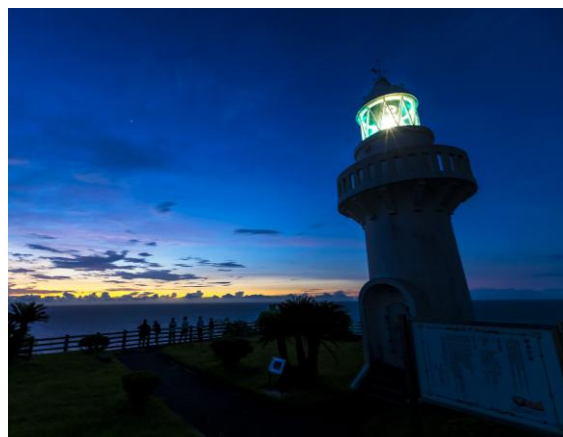
地元高校生による灯台出張塾



**市内外に向けたプロモーション
強化**



自走化に向けた実施体制の構築



事業名：HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT

助成金終了後、本事業は新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
✓	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
✓	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

資料



フェイス
タオル
表



フェイス
タオル
裏

